



# 障がいのある人もない人も

# 自分らしく生きること

▲就労支援事業所での  
惣菜製造作業

問合せ 障がい福祉課 (☎ 983 - 2612)

市では、障がいのある人もない人も、住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと自立した生活を送ることができる「共生社会」を目指しています。

その実現には、市民の皆さんの障がいのある人を思いやる気持ちをはじめ、段差の少ないバリアフリーの道路整備、ユニバーサルデザインの導入など、さまざまな施策や取り組みを推進していく必要があります。

## 12月3日～9日は障害者週間

障害者福祉についての理解と関心を深め、障がいのある人が社会に積極的に参加する意欲を高めることを目的として「障害者基本法」に定められています。

この機会に、家庭、地域、学校、職場などで「障がい」について話し合い、考えてみませんか。

### ●障がい者施設利用者作品展

とき 12月5日(月)～9日(金)

ところ 市役所本館 玄関ロビー

問合せ 障がい福祉課 (☎ 983 - 2612)



▲昨年の作品

### ●生活のしづらさなどに関する調査にご協力ください

厚生労働省による「生活のしづらさなどに関する調査」を実施します。調査結果は国の障がい福祉施策を改善するための基礎資料となります。該当地区に調査員が伺いますので、ご協力ください。

とき 12月1日(休)から

対象 障害者手帳を持っている人、難病、長引く病気やけがなどにより生活のしづらさのある人

調査方法 調査員が調査地区内の世帯を訪問し、調査票を手渡し、記入と郵送による返送を依頼する。

問合せ 障がい福祉課 (☎ 983 - 2691)

## 「共生社会」を実現する取り組み

障がいのある人が地域で「当たり前」に生活できるよう、「共生社会」の実現を目指し、さまざまな活動に取り組んでいる障がいのある人やその家族、地域の皆さんを、次のページで紹介します。



▲部品の組み立て作業中

駿豆地区自立支援協議会は、障がいのある人を取り巻く地域の課題解決を図るため、三島市、裾野市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町の3市3町で組織されています。

協議会の中に、「就労・雇用」をテーマとした専門部会のひとつとして、就労部会があります。行政担当者、特別支援学校、ハローワーク、障がい者就労支援事業所の代表者などで組織され、障がい者の就労・雇用の促進、雇用に関する課題を解決するために、さまざまな取り組みを行っています。

障がい者の自立を支援していくうえで、「就労」は必要不可欠なものであり、特に、離職後の再就職支援が大きな課題となっています。障がい者の就労を地域全体で支える体制づくりを進めています。



## ぶれジョブみしま 代表 中川美織さん



「ぶれジョブ」とは、小学5年～高校3年生程度の障がいのある子どもたちが放課後や休日を利用し、自分の住む地域の企業や店舗などで週1回1時間、約6カ月間、仕事体験（職業体験）を行い、地域での居場所を作るための活動で、全国的な広がりを見せています。月1回、定例会を行い、子どもたちの育ち、地域の理解、受け入れなどを確認し、共有しています。県内では県立御殿場特別支援学校で活動が始まり、昨年10月、「ぶれジョブみしま」が立ち上がりました。図書館や市内のコンビニエンスストアなどで活動しています。

### ●「ぶれジョブ」ジョブ・サポーター（ボランティア）募集中

職業体験をサポートして下さるボランティアを募集しています。※資格不要  
問合せ ぶれジョブみしま事務局・中川さん（☎090 - 4467 - 3985）



▲図書館の書物整理をしました

## 東部障害者マルチメディア情報センター ～パソコン学習を支援しています～



▲障がい者用パソコン

平成14年から、東部障害者マルチメディア情報センターでは、NPO法人ウォーター・ビジョンが県の委託を受け、障がい者の皆さんの就労支援のためにパソコン学習の支援を行っています。センターでは、PCアドバイザーが常駐し、一人一人の障がいに応じたパソコンの勉強相談、支援、アドバイスなどを行っており、利用される皆さんの目的に応じてお手伝いをしています。また、センターに来ることが困難な人には、アドバイザーによる訪問指導も可能です。希望する場合は、気軽に問い合わせください。

とき 火曜～土曜日、第3日曜日午前10時～午後4時※第3を除く日曜日、祝日は休館

ところ 沼津商連会館第1ビル3階（JR沼津駅前）

問合せ 東部障害者マルチメディア情報センター（☎964 - 1130）